

## 2018年6月購入図書

No.	図書名	内容	著者名	出版社
1	弟の夫①～④	<p>ゲイアートの巨匠、田亀源五郎、初の一般誌連載作品。          弥一と夏菜、父娘二人暮らしの家に、マイクと名乗る男がカナダからやって来た。          マイクは、弥一の双子の弟の結婚相手だった。「パパに双子の弟がいたの?」「男同士で結婚って出来るの?」。          幼い夏菜は突如現れたカナダ人の“おじさん”に大興奮。弥一と、“弟の夫”マイクの物語が始まる。          ★LGBTについて当事者が抱えている悩みだけでなく、周囲の人たちのとまどいや影響についても丁寧に描写されており、性別の固定観念に生きづらさを感じている人々を理解し、人権を尊重する一助になる。</p>	田亀源五郎	双葉社
2	母親の孤独から回復する 虐待のグループワーク実践に学ぶ	<p>子どもに対する「虐待」についての児童相談所への相談件数は、現在10万件を越えている。相談されず、表に出てこないケースを含めれば、その数はさらに増えることだろう。子どもを叩いてしまう母親は、なぜ増えているのだろうか?なぜ彼女たちは、子どもを叩いてしまうのだろうか?気づいたら叩いてしまう。叩いてしまう自分を抑えられない……。中には、エスカレートして、子どもを死に至らしめてしまう場合すら起きている。そんな母親には、自分自身が子どもだった頃に母親に叩かれた恐怖、そこから生まれた孤立感があることがめずらしくない。そのことに気づかぬまま、気づいたら自分も子どもを叩くようになってしまっているのである。          ——本書は、そんな孤独の中で苦しんでいる母親たちのために書かれた。</p>	村上靖彦	講談社選書メチエ
3	「おひとりウーマン」消費! 巨大市場を支配する40・50代パワー	<p>「おひとりウーマン」とは、みずから働き、気持ちのうえでも自立した、40、50代の大人の独身女性。「おひとりさまマーケット」「草食系男子」などの流行語を世に広め、数々のテレビ番組のコメンテーター出演でもおなじみの著者が、13年間ウォッチングを続けてきた「おひとりウーマン」の消費志向やライフスタイル、恋愛や結婚願望に深く迫る。          個人消費が伸びず、景気回復実感も伴わない昨今だが、内閣府・経済財政諮問会議の政策コメンテーターなども務める著者は、40、50代の働く女性の消費意欲こそが日本の経済と未来を救う、と力説する。いまこそ、彼女たちの深層心理や消費行動をポジティブに見守る、「独身ファースト」の視点が重要。</p>	牛窪恵	毎日新聞出版
4	ムダ家事が消える生活	<p>【92%の人が「ムダな家事が減った」を実感!】          この本で紹介するコツ、ワザを実際に試してもらったところ、128人中118人の方々から          「家事が減った」「イライラが減った」という回答をいただきました。90%以上の方々が効果を実感した家事のコツ。どれも簡単ですぐに試せるものばかりです。生活に取り入れて今すぐ「ムダな家事」から卒業しませんか?            【ムダ家事って何?】          ムダ家事とは「当然のようにやっているけれど、じつはやらなくてもよい家事のこと」です。</p>	本間朝子	サンクチュアリ出版

5	産婆(さんば)フジヤン ～明日を生きる力をくれる、93歳助産師一代記～	シリーズ累計15万部『大丈夫やで』の著者、93歳・日本最高齢現役助産師坂本フジエさんの明るく、楽しく生きるコツがわかる初の自伝が登場！！ 大正13年、和歌山県に生まれ、助産師になって72年。4,000人以上の命の誕生を見届けてきた著者の歩みと、そこから見えてくる「生まれてくること」と「生きること」。明日を生きる力がわいてくる一冊!!  ★人生100年時代を見据えて、今なお現役で働いている女性の生き方は大いに参考になる。	坂本フジエ	産業編集センター
6	誰にも頼れない女(ひと)のお金の守り方	1,000万円を超える、夫の借金の肩代わり、離婚、そして子どもを二人抱えたお金の知識ゼロからの自立……etc. 本書の著者である小山智子氏は、そうした大変な状況から、現在ではお金に困ることのない生活を手に入れ、さらにはお金の専門家として、多くの女性のコンサルタントとして活躍しています。 では、どうして、小山氏はここまでうまくいったのでしょうか?また、このご時世、お金の知識がまったくない女性がひとりで生きていくには、どうすればいいのでしょうか? 本書は、そうした“誰にも頼れない現代女性”が、ゼロからお金の知識を得て、社会で活躍するために必要なノウハウを教えてくれる一冊です。	小山智子	秀和システム
7	泣きかたをわすれていた	主人公は72歳の冬子。子どもの本専門店を主宰しながら、認知症の母を自宅介護し、その母を見送り、今は母が介護を必要とした年齢になっている。冬子は介護の日々を振り返るが、それは彼女にとって単なる懐古ではなく、この先にある自分の人生の「終わり」を見据えること…。私たちの生において真の自由とは何かを問う、あらゆる年齢、性別の方に読んでいただきたい1冊。	落合恵子	河出書房新社
8	国会女子の忬度日記 議員秘書は、今日もイバラの道をゆく	あの自民党女性議員の「このハゲーっ!!」どころじゃない。ブラック企業も驚く労働環境にいる国会議員秘書の叫びを聞いて下さい。議員の傲慢、セクハラ、後援者の仰天陳情、議員のスキャンダル潰し、命懸けの選挙の裏、お局秘書のイジメ……知られざる仕事内容から苦境の数々まで20年以上永田町で働く現役女性政策秘書が書きました。人間関係の厳戒地帯で生き抜いてきた処世術は一般にも使えるはず。全編4コマまんが付き、辛さがよくわかります。	神澤志万	徳間書店
9	ねないこはわたし	1969年に刊行されてから、いまだにあらゆる幼児に読み聞かせられる永遠の名作絵本『ねないこだれだ』。誰もが見覚えのある独特の貼り絵、そして夜更かししていた子どもが「おぼけ」になって連れていかれてしまうという衝撃的なラストで、発行部数は200万部以上を記録している。 この『ねないこだれだ』は、子どもを寝かしつけるしつけの本ではなかった、という驚きの告白からはじまる本書は、せなさんが初めて「自分のことを書いた絵本」。子育てをした人、子育てをする人、絵本が好きな子ども、すべての人へ贈る、自伝的絵本。	せなけいこ	文藝春秋

10	子どもの脳を傷つける親たち	<p>『子どもの脳を傷つける親たち』を著した友田明美は、子どもの発達に関する臨床研究を30年近くつづけてきた小児精神科医。彼女によれば、日本語で「不適切な養育」と訳される「マルトリートメント」によって、子どもの脳が物理的に変形することが明らかになったらしい。</p> <p>傷ついた脳はその後、学習意欲の低下や非行、うつや統合失調症などを引きおこす。大人ですら過度なストレスは脳に大きな影響を与えるのだから、発達過程(乳幼児期、思春期)でマルトリートメントに晒された脳がどうなるか、素人でも理解できる。</p> <p>では、どう予防すればいいのか、傷ついた脳を回復させる方法はあるのか、脳が傷ついたまま親になっている場合はどう救うのか。友田は愛着形成の重要性を説きつつ、具体的な対策を紹介する。</p>	友田明美	NHK出版新書
11	にじいろのチョコレート ～ 働く幸せを実現した町工場の奇跡 ～	<p>「日本でいちばん大切にしたい会社」と言われる「日本理化学工業(株)」は、従業員の7割が知的障がい者のチョコレートの製造会社です。会長の大山泰弘さんは「人は人に必要とされてこそ幸せを感じられます。楽しく皆が幸福を感じる事が出来る、そんな会社にしていきたい」と半世紀以上前から障がい者を健常者と同様に雇用して業績も上げています。</p> <p>知的障がい者を雇用することになったいきさつ、職場で起きたあつれきや逆境を乗り越えてきたこと、障がい者の懸命に働く姿、障がい者家族の会社への感謝の思い、健常者の障がい者への理解、尊敬の念、友情など、心優しい人々たちを丁寧に取材して書かれた本です。</p>	小松成美	幻冬舎
12	メンタル・タフネス － はたらく人の折れない心の育て方 －	<p>本書は、「メンタル・タフネス(心の力)は鍛えられる」ことを教えてくれる本です。はたらく一人ひとりが心身ともに健康な職場生活を送れることは、人々が充実した毎日を送るためにも、企業の発展にとっても欠かすことができません。</p> <p>本書は心理資本という4つの柱(希望・自己効力感・レジリエンス・楽観性)に着目し、心の力を高める具体的方法を紹介するものです。幸福度のアップ、ウェルビーイング強化にも役立つ一冊です。</p>	下野淳子	経団連出版
13	世界を変えた50人の女性科学者たち	<p>歴史の陰に隠れがちだった偉大な女性科学者50人をおしゃれなイラストと共に紹介。教育の制限、パワハラ、ブラック労働、成果の盗用…。数々の不当な差別や不運に直面しながらも、自分を信じて奮闘し、不可能を可能に変えていった女性科学者たちの勇気とバイタリティに胸が熱くなる。科学者や女性に限らず、自由と夢を追いかけるすべての人の背中を押してくれる1冊。</p>	レイチェル・イグノトフスキー／著 野中モモ／訳	創元社